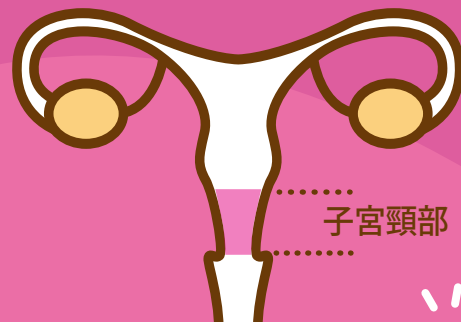


30～50歳代の方におすすめ

ヒトパピローマウイルス

HPV検査

子宮頸がん検診を受ける方が対象です！



オプション検査
料金 **5,610** 円(税込)



20代・30代の若い女性に、子宮頸がんが増えています。

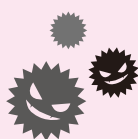
子宮頸がんは、子宮頸部の表面にがんができる病気です。近年、20代や30代の若年層で増加傾向にあり、**年間15,000人の方が罹患し、そのうち約3,500人の方が亡くなっています。**子宮頸がんは、長い年月をかけて進行するので、初期の段階で発見することがとても重要です。子宮頸がんのリスクをより詳細に調べ、より安心につなげます。

HPV検査

子宮頸がんの原因は、99%がヒトパピローマウイルス(HPV)感染です。

ウイルス感染を調べる

「HPV検査」



「HPV検査」は、子宮頸部から採取した細胞が、子宮頸がんの原因であるウイルスに感染しているかどうかわかります。

検査でHPV感染が確認されても、すぐに「**子宮頸がん**」になるわけではありません

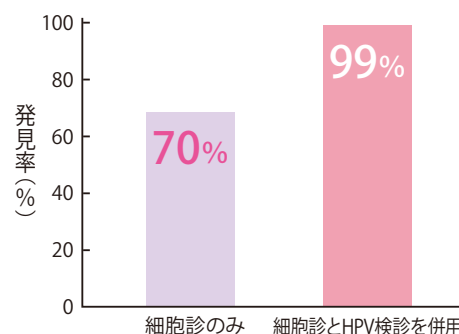
HPV感染から子宮頸がんになるまでは、数年～10年以上かかります。また、約90%は自然消失しますが、ウイルスの感染が消えず体内に留まる場合、子宮頸がんに行進することがあります。リスクを知り、前がん病変の早期発見のため継続的な子宮頸がん検診をおすすめします。

「細胞診」と「HPV検査」の併用で見逃しを防ぐ

子宮頸がん検診は「細胞診」です。がん細胞や前がん病変を発見できる一方、検査結果が陰性の場合でも、一部に異常細胞が潜んでいることがあり、日本産婦人科学会などでは、HPV検査との併用を強く推奨しています。

2つの検査がどちらも陰性の場合、当院では次の検診は5年後、細胞診のみ異常なしの場合、2年後の検診をおすすめしています。

2つの検査の併用によって異常を発見



不明な点や気になることがあれば健診センターにご相談ください。



医療法人社団 藤聖会 富山西総合病院 〒939-2716 富山市婦中町下轡田1019
健診センター tel.076-461-7700 <https://toyama-nishi.jp>